

平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラムとの対応表

本書は、「平成25年度改訂版・薬学教育モデル・コアカリキュラム」の「A基本事項」の各到達目標（SBO）に対応した構成となっております。

本書では各到達目標を番号づけ（#〇〇で表示）しており、以下の一覧では各到達目標に関連する項目のページを記載しています。

太字になっているページは、その到達目標が主に扱われている項目を指しています。

A 基本事項

到達目標（SBO）		関連ページ
(1) 薬剤師の使命		
一般目標：医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。		
【①医療人として】		
#1	1.常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度)	16, 28, 35, 42, 71, 145, 158, 191, 194, 214
#2	2.患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度)	28, 42, 128, 145, 236
#3	3.チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(態度)	28, 42, 50, 207, 214, 236
#4	4.患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。(知識・態度)	16, 22, 145
#5	5.生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。(知識・態度)	22, 107, 145
#6	6.一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い合わせし、自らの考えを述べる。(知識・態度)	145, 221, 259
#7	7.様々な死生觀・価値觀・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。(知識・態度)	22, 122, 145, 221
【②薬剤師が果たすべき役割】		
#8	1.患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(態度)	16, 28, 35, 42, 50, 57, 128, 236, 253
#9	2.薬剤師の活動分野(医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政等)と社会における役割について説明できる。	28, 42, 50, 128
#10	3.医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシーティカルケアについて説明できる。	28, 42, 50, 128

到達目標（SBO）		関連ページ
#11	4.医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。	35, 57
#12	5.医薬品の創製(研究開発,生産等)における薬剤師の役割について説明できる。	35
#13	6.健康管理,疾病予防,セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。	28, 42, 50
#14	7.薬物乱用防止,自殺防止における薬剤師の役割について説明できる。	50
#15	8.現代社会が抱える課題(少子・超高齢社会等)に対して,薬剤師が果たすべき役割を提案する.(知識・態度)	
【③患者安全と薬害の防止】		
#16	1.医薬品のリスクを認識し,患者を守る責任と義務を自覚する.(態度)	28, 35, 57, 65, 71
#17	2.WHOによる患者安全の考え方について概説できる。	71
#18	3.医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。	65, 71, 128
#19	4.医薬品が関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙し,その原因と防止策を説明できる。	57, 71
#20	5.重篤な副作用の例について,患者や家族の苦痛を理解し,これらを回避するための手段を討議する.(知識・態度)	57
#21	6.代表的な薬害の例(サリドマイド,スモン,非加熱血液製剤,ソリブジン等)について,その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。	57
#22	7.代表的な薬害について,患者や家族の苦痛を理解し,これらを回避するための手段を討議する.(知識・態度)	57
【④薬学の歴史と未来】		
#23	1.薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。	77
#24	2.薬物療法の歴史と,人類に与えてきた影響について説明できる。	57, 77
#25	3.薬剤師の誕生から現在までの役割の変遷の歴史(医薬分業を含む)について説明できる。	28, 128
#26	4.将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する.(知識・態度)	28, 50, 57, 77, 259
(2) 薬剤師に求められる倫理観		
一般目標：倫理的问题に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。		

到達目標（SBO）		関連ページ
【①生命倫理】		
#27	1.生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。(知識・態度)	22, 107, 113
#28	2.生命倫理の諸原則(自律尊重,無危害,善行,正義等)について説明できる。	81, 88, 94, 99, 151
#29	3.生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。(知識・態度)	22, 88, 99, 107, 113, 122, 145, 221
#30	4.科学技術の進歩,社会情勢の変化に伴う生命観の変遷について概説できる。	113, 122, 135
【②医療倫理】		
#31	1.医療倫理に関する規範(ジュネーブ宣言等)について概説できる。	
#32	2.薬剤師が遵守すべき倫理規範(薬剤師綱領,薬剤師倫理規定等)について説明できる。	81, 128
#33	3.医療の進歩に伴う倫理的問題について説明できる。	113, 135, 165
【③患者の権利】		
#34	1.患者の価値観,人間性に配慮することの重要性を認識する。(態度)	16, 22, 81, 88, 94, 145, 151, 158, 194, 201, 214, 226, 230, 236
#35	2.患者の基本的権利の内容(リスボン宣言等)について説明できる。	151, 158
#36	3.患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義について説明できる。	22, 81, 99, 113, 122, 151, 158, 165
#37	4.知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し,適切な取扱いができる。(知識・技能・態度)	94, 151, 158, 194
【④研究倫理】		
#38	1.臨床研究における倫理規範(ヘルシンキ宣言等)について説明できる。	158, 165
#39	2.「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。	158, 165
#40	3.正義性,社会性,誠実性に配慮し,法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)	135, 165
(3) 信頼関係の構築		
一般目標：患者・生活者、他の職種との対話を通じて相手の心理、立場、環境を理解し、信頼関係を構築するために役立つ能力を身につける。		

到達目標（SBO）		関連ページ
【①コミュニケーション】		
#41	1.意思・情報の伝達に必要な要素について説明できる。	145, 171, 178
#42	2.言語的及び非言語的コミュニケーションについて説明できる。	145, 158, 171, 185, 191
#43	3.相手の立場・文化・習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。	145, 158, 178, 185, 191, 207, 236
#44	4.対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。	145, 158, 185, 194
#45	5.相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。(態度)	16, 42, 65, 88, 94, 122, 128, 145, 158, 185, 191, 194, 201, 207, 230
#46	6.自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。(態度)	145, 158, 191, 194, 201, 207
#47	7.適切な聞き方・質問を通じて相手の考え方や感情を理解するように努める。(技能・態度)	16, 42, 107, 145, 158, 171, 178, 191, 194, 207, 230, 236, 241
#48	8.適切な手段により自分の考え方や感情を相手に伝えることができる。(技能・態度)	16, 42, 94, 107, 128, 145, 158, 171, 178, 185, 191, 194, 201, 207, 236
#49	9.他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能・態度)	16, 42, 50, 88, 113, 158, 185, 194, 207, 236, 241, 248
【②患者・生活者と薬剤師】		
#50	1.患者や家族・周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。	88, 201, 214, 221, 226, 230
#51	2.患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動する。(態度)	16, 22, 81, 94, 122, 201, 221, 226, 230
(4) 多職種連携協働とチーム医療		
一般目標：医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チームの一員としての在り方を身につける。		
#52	1.保健・医療・福祉・介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。	28, 50, 151, 207, 236
#53	2.多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割について説明できる。	28, 50, 236
#54	3.チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割について説明できる。	28, 50, 81, 226, 236

到達目標（SBO）		関連ページ
#55	4.自己の能力の限界を認識し,状況に応じて他者に協力・支援を求める。(態度)	16, 28, 191, 207, 236, 241, 248
#56	5.チームワークと情報共有の重要性を理解し,チームの一員としての役割を積極的に果たすように努める.(知識・態度)	81, 207, 236, 241 , 248
(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成		
一般目標：生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。		
【①学習の在り方】		
#57	1.医療・福祉・医薬品に関わる問題,社会的動向,科学の進歩に常に目を向け,自ら課題を見出し,解決に向けて努力する.(態度)	16, 28, 50, 88, 113, 122, 248
#58	2.講義,国内外の教科書・論文,検索情報等の内容について,重要事項や問題点を抽出できる.(技能)	113, 135, 253
#59	3.必要な情報を的確に収集し,信憑性について判断できる.(知識・技能)	88, 113, 135, 253
#60	4.得られた情報を論理的に統合・整理し,自らの考えとともに分かりやすく表現できる.(技能)	16, 42, 88, 135, 248, 253
#61	5.インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り,情報倫理,情報セキュリティに配慮して活用できる.(知識・態度)	135
【②薬学教育の概要】		
#62	1.「薬剤師として求められる基本的な資質」について,具体例を挙げて説明できる.	28
#63	2.薬学が総合科学であることを認識し,薬剤師の役割と学習内容を関連づける.(知識・態度)	42
【③生涯学習】		
#64	1.生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し,その意義について説明できる.	28, 259
#65	2.生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる.(技能)	28, 241, 259
【④次世代を担う人材の育成】		
#66	1.薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し,ロールモデルとなるように努める.(態度)	259
#67	2.後輩等への適切な指導を実践する.(技能・態度)	259